



日本プライマリ・ケア連合学会
関東甲信越ブロック支部 活動報告

発行人
関東甲信越ブロック支部長
西村 真紀

ニュースレター No. 10 (2015. 6)

1. 都県連絡委員会設立のお知らせ

4月に都県連絡委員会設立されました。この委員会は都県支部活動の方針と運営についての意見交換、関東甲信越ブロック支部活動の方針、予算、決算等への助言、および関東甲信越ブロック地方会のブロック支部としての支援、その他を任務とします。細則など詳細は平成27年度第1回議員総会で報告、議論が予定されています。

メンバー(敬称略)

茨城県代表	今高國夫
栃木県代表	矢吹清人:副委員長
群馬県代表	高柳亮:副委員長
埼玉県代表	中根晴幸
千葉県代表	林直樹
東京都代表	鈴木央
神奈川県代表	松田隆秀
新潟県代表	井口清太郎
山梨県代表	古屋聡
長野県代表	古川善行
学会理事	石橋幸滋(東京):委員長
学会理事	大橋博樹(神奈川)
学会支部支援委員会	細田稔(神奈川)
学会支部支援委員会	松村真司(東京)
学会支部支援委員会	小玉剛(東京)
事務局	遠井敬大(神奈川)
監事	矢澤一博(東京)
監事	今道英秋(栃木)
支部長	西村真紀(神奈川)

2. 高玉真光先生、第1回関東甲信越ブロック支部功労賞受賞のお知らせ

関東甲信越ブロック支部功労賞とは学術大会開催地である関東甲信越ブロックに在住する方で、長年に渡りプライマリ・ケアに従事し、多大な功績のある本会会員を表彰するものです。本学会及び本学会関東甲信越ブロックの基本理念が、それぞれの地での真摯なプライマリ・ケア活動にあることを広く知らしめることを目的とします。関東甲信越ブロック支部が組織した選考委員会によって検討し、関東甲信越ブロック支部長が決定します。選考委員会で検討した結果、老年病研究所附属病院院長、高玉真光先生に決定いたしました。高玉先生は日本プライマリ・ケア学会の副会長、実地医家のための会副代表なども務められ、学会群馬県支部の創設から80歳を超えた現在に至るまで様々な学習企画に精力的に関わられておられます。表彰式は6月14日(日)9時より学術大会会場にて行われます。

3. 日本プライマリ・ケア連合学会神奈川支部～第95回学術集会のご案内

日本プライマリ・ケア連合学会神奈川支部は地域医療に関わる多職種が一緒に参加し、活動を行っています。その一つに学術集会の開催があります。95回を迎える今回の学術集会は医療と介護の連携に焦点を合わせ、下記のような多職種参加型のシンポジウムを企画しました。職種に関わらず、大勢のご参加をお待ちしております。

日本プライマリ・ケア連合学会神奈川支部 会長 松田 隆秀

日本プライマリ・ケア連合学会神奈川支部 第95回学術集会
『医療と介護の連携ツールを考える』

平成12年に介護保険制度が開始され医療と介護の連携の必要性はいろいろな所で話題になり、地域包括ケアシステムを構築する上でも重要な鍵を握っています。しかし、未だに皆が満足できる十分な連携は出来ていないのが現状です。最近ではクラウドシステムを利用した連携も有用とされるものの誰でもすぐに利用できるものではないので、今あるものを工夫して上手に連携できないか話合ってみたいと思います。お誘いあわせの上皆様のご参加をお待ちしています。

式次第

日 時：平成27年6月27日(土) 15:30～17:30

場 所：神奈川県総合医療会館

開会のあいさつ 日本プライマリ・ケア神奈川支部会会長 松田隆秀

シンポジウム 『医療と介護の連携ツールを考える』

座長 神奈川支部会 幹事 岡田孝弘

演題1 『多職種連携の必要性』

神奈川支部会 幹事 岡田孝弘

演題2 『連携ノートを利用した多職種連携』

鶴見区医師会在宅部門 統括責任者 看護師 栗原美穂子

演題3 『医療情報の薬剤師への提供』

日横クリニック 鈴木悦朗

コメンテーター 明日花薬局 薬剤師 日向 彰

ケアプランナーみどり ケアマネジャー 原田 保

閉会のあいさつ 日本プライマリ・ケア神奈川支部会副会長 鴨志田義功

4. 『都県連絡委員会のWeb会議に参加して』 埼玉プライマリ・ケア連合研究会支部

代表世話人 中根晴幸 (さいたま市緑区 ハーモニッククリニック院長)

台風の日を想起させる推進パワーが中心にあると、広域での組織運営も円滑に進むという経験をしています。主謀者の我らがブロック支部長からも紹介があると思いますが、この4月に、関東甲信越ブロックではネットを通じた会議システムが立ち上がり、情報共有と意思疎通が突如スピードアップされた…、当方は受け身の立場からの報告です。4月1日に関東甲信越ブロックの都県連絡委員会を設立したいと支部長からメール連絡があり、8日にメーリングリスト参加への案内があり、翌日には4月15日に第一回のWeb会議を行なうと連絡があり、あまりのテンポの速さに「何だ、Web会議って？」とやや困惑…する間もなく資料やソフトが送られ、心中で大汗をかきながら何とか第1回の会議に出席。勉強にはなつたとホッとする間もなく1ヶ月後に第2回の会議予定が知らされて…、北は新潟から南は神奈川まで10都県をつなぐ支部委員会を新設し、会議を終えるという難題がWeb会議を通じて2か月

足らずで解決されました。いかにもネット時代らしく便利なので、埼玉支部でも使える会議方式か調べたが、有料の使用契約が必要で、余程の日常的必要がないと使い切れないようでした。

埼玉支部では3月下旬に臨時世話人会を開き、事務局本部を埼玉医大に移すなどの規約変更について検討しました。今年の総会、研究会は11月19日(木)に大宮ソニックシティ906号室での開催を予定しており、内容については従来、埼玉県の地域性を生かした多職種協働&教育、医療・ケア連携推進に資する発表を主としていますので、今後地域医師会ともさらに協力を深めながら今日的なテーマを扱いたいと思います。6月に今年第2回目の世話人会を予定しています。

5. 2015年第1回(通算18回目)関東家庭医療ネットワークの勉強会開催報告

2015年5月16日東京医療センターにて、2015年第1回(通算18回目)関東家庭医療ネットワークの勉強会が開催されました。この度は、多摩ファミリークリニックの大橋 博樹先生、高木 暢先生、堀越 健先生をお招きし、「できる家庭医は介護・福祉も強い! ~介護・福祉制度超基礎講座~」と題しまして、勉強会を開催しました。勉強会34名、懇親会21名と多数の方々に参加いただきました。今回も様々な出会いがあり、関東の家庭医療に興味がある仲間の「顔の見える関係」作りがさらに広まったと思います。次回2015年8月15日 東京医療センターにて開催予定です。皆様の参加をお待ちしております。

関東家庭医療ネットワーク代表 遠井 敬大



【関東家庭医療ネットワークとは】

“関東の家庭医の顔の見える関係を作る”を目的に、定期的に勉強会・飲み会を開催しております。<http://kfnnnet.jimdo.com/>
“関東”といっても自分が関東だ!!と思えば OK!!(どこに住んでいても OK)とかなり敷居は低めです。飲み会のみ参加も OK です!!もちろん家庭医を目指す学生さんや他科の先生の参加也大歓迎です。皆様の参加をお待ちしております。